

視 察 報 告 書

報告者氏名 菅野 浩考 印

2 期 間

平成 23 年 10 月

3 視察先等および視察項目

障害者福祉作業所（さつき園、いろいろハーモニー等の流山市内作業所）

障がい者福祉作業所は在宅障がい者の生活、作業指導を通じて、生活の充実と社会的な自立を図るとともに、社会参加の促進といきがいを与える事を目的に、当事者と障がい者を持つ親の熱い願いにより開所された。まだまだ小規模作業所を取り巻く環境は厳しいものがあり、運営は必死の努力でやっと支えられているのが現状である。また障がい者福祉作業所による一人一人に対する賃金はごくわずかで、月に約1.7万円程度しかない。それでも必死に働いて稼いだ給与を心待ちにしている。障がい者福祉作業所は、当事者だけの運営では本来の目的が達成できない。障がい者が安心して暮らしていける地域を、ボランティア・多くの住民の方々のさらなる協力によって創っていくことこそが必要ではないだろうか。先日、福祉作業所に勤める障がい者の母親から話を伺う機会があった。「**親は子供より1日だけでも長く生きたいが叶わない。親亡き後に子供のことをよく理解してもらい、子供には安らかな生涯を送ってほしい**」と語られた。私は涙が出る想いで話を聞き入り「積極的に議員活動を通じて取り組む」約束をした。超高齢化社会に突き進む中、**障がい者の親亡き後についても真剣に考えるべきだ。**

かんのひろたか